



# わかやま

No.39

和歌山県精神保健福祉センターだより 2009年5月

## 「和歌山精神神経科診療所協会のお誘い」

和歌山精神神経科診療所協会 会長 松本 幸男

近年の目覚ましい社会の変化に伴い、私たちの暮らしも急速な変化をしています。古代ならば何千年、中世ならば何百年の歳月をかけて変わってきたような変化が、今ではわずか十年、二十年の間にみられますし、さらにその変化の速度は増しています。そのような変化がいろいろな社会、あらゆる世代の人たちの生活に歪みと、戸惑いをもたらしています。

家庭、学校、社会場面では、今まで先例のない問題が多く見られます。また各世代における問題としては、乳幼児期には母子関係を主とした親子問題、兄弟の問題、子ども同士の遊びの問題、学童期には学校における対人交流、勉学への不適応、思春期には自己同一性の確立の困難さによる非行や怠け、青年期における結婚と就労での不適応、壮年期には社会、家庭での役割の遂行の困難性、老年期には自己の人生への容認の不確立に伴う死への恐怖等が表面化しています。そしてその問題の把握、対処方法は確立せず、人は戸惑いを感じています。そんな時代にあっていつでも、気軽に相談、受診できる精神科、心療内科の診療所が必要になってきていると思われます。和歌山精神神経科診療所協会では精神的な病気はもちろん、これらの問題が大きく、重篤にならないうちに受診していただけますよう、第一線での初期治療と継続した通院治療の実践を目標として日々研鑽するとともに、和歌山県・市医師会、精神科病院協会、福祉・相談機関との連携・協力を密にしていますので、どんなことでも気軽にご利用ください。

### もくじ

- P 1 和歌山精神神経科診療所協会のお誘い
- P 2 退院促進から地域移行へ
- P 3/4 「もし、生きるのがつらいと思ったら・・・  
勇気を出して相談してみよう」相談窓口一覧
- P 5 メンタルヘルスニュース / センターの相談事業
- P 6 は一とふるネットワーク  
「紀南障害者地域生活支援センター 垣本 哲志さん」  
研修のお知らせ

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

☎ (073) 435-5194 FAX (073) 435-5193

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/040400/050301/>

## 退院促進から地域移行へ

和歌山県 障害福祉課 中川 浩二

平成14年、厚生労働省が発表した「障害者基本計画」および「重点施策5カ年計画」において、「受け入れ条件が整えば退院可能な入院患者7万2千人について10年のうちに退院、社会復帰を目指す」としました。それを受け、社会保障審議会障害者分会では、7万2千人の退院促進をすすめるために「普及啓発に関する検討会」「地域生活支援のあり方に関する検討会」「精神病床のあり方に関する検討会」という3つの専門検討委員会を立ち上げ、平成16年の「改革ビジョン」が発表されるにいたりました。

このような背景の中で平成15年度に「精神障害者退院促進支援事業」が国において事業化されることとなりました。和歌山県でも本事業を平成16年度からスタートさせました。県では、平成19年に発表した障害福祉計画において、国の7万2千人を基準に受け入れ条件が整えば退院可能な方が523人いると推算しています。この方々の退院を目指し、地域活動支援センターI型に委託する形で毎年実施圏域を増やし事業を進めてきました。平成20年度には県内8圏域すべてで事業実施が可能となりました。事業開始からこの5年間で25名の長期入院の方々が退院することが出来ました。支援の終了時点での住まいは家族との同居が6名、単身生活した方が9名いました。その中には二十数年入院生活を送っていた方もいます。10名の方も支援終了時はグループホーム等の利用でしたが、その後単身生活に移行されている方もいるようです。

平成20年度から国はこれまでの「精神障害者退院促進支援事業」を見直し、総額17億円の予算を計上し、「地域移行支援特別対策事業」を実施しています。県では、今年度から要綱を改め、本事業を実施することとしています。この事業の概要は①実施主体は都道府県ですが、委託先として、これまでの地域活動支援センターに加え、適切な圏域を設定し相談支援事業者等にも委託できることとなりました。②新たに精神保健福祉士または同程度の知識を有する者を地域体制整備コーディネーターとして配置し、病院等関係機関への

事業周知や社会資源等の情報提供や開発に関する助言などを行うこととしており、その活動は毎月県に報告することが義務づけられています。③これまでの自立支援員に替わり地域移行推進員を配置し、主治医との調整に基づき、支援計画を作成し、院外活動にかかる同行支援を行います。④圏域ごとに協議会を設置し、病院、施設等と合意・調整を図ったうえで利用対象者を決定し、困難事例の解決などに関する調整を行います。⑤これまでの事業が退院を促進することだけが目的かのような誤解を与えかねなかったため、新事業ではこれまでの退院の促進に加え、地域に移行し定着した生活が出来ることを目的とするため、支援の終了を旧事業では退院後1ヶ月としていましたが、新事業では6ヶ月としています。

しかしながら、県内の「受け入れ条件が整えば退院可能な入院患者」523人の方の地域移行がこの事業だけで解消するものではありません。これまで実践されてきた各医療機関の独自の長期入院者解消への取り組みや県が実施してきた退院促進の研修会などを通して、さらに多くの関係者の意識に変化がみられたことなど本事業の波及効果の大きさも実感しています。県は21年度からこれまでの圏域のうち、新たに伊都圏域と東牟婁圏域の相談支援事業者への事業委託を計画しています。多くの対象者が地域へ移行するためにも対象者の可能性や主体性を引き出す関係者の支援体制の構築がさらに必要であると考えます。



# もし、生きるのがつらいと思ったら… 勇気を出して相談してみよう

全国の自殺者数は年間3万人を超えています。和歌山県でも年間250人余の方が自殺で亡くなっています。1人の方の死は、周囲の人々に深刻な影響を与えます。

また、自殺未遂者は自殺で亡くなる方の数倍あると言われています。

自殺はこころや身体の健康問題、経済・生活問題、家庭や仕事の問題などの要因が複雑に関連し合い、心理的に追い込まれた末におこります。

県内にはこころの健康、経済問題、仕事の問題などのいろいろな相談窓口があります。もし、生きるのがつらいと思ったら、ひとりで抱え込まず気軽に相談してください。

**一緒に解決に向かいましょう。**



## 相談窓口一覧

分野別	相談内容	相談窓口	電話番号	開設時間
こころの相談	こころの健康に関する様々な問題や悩み	こころの電話	073-435-5192	月～金 9:30～16:00
	こころと身体の健康	和歌山県精神保健福祉センター	073-435-5194	月～金 9:00～17:45
		岩出保健所	0736-63-0100	
		橋本保健所	0736-42-3210	
		海南保健所	073-482-0600	
		湯浅保健所	0737-63-4111	
		御坊保健所	0738-22-3481	
		田辺保健所	0739-22-1200	
		新宮保健所	0735-22-8551	
		新宮保健所串本支所	0735-72-0525	
	和歌山市保健所	073-433-2261	月～金 8:30～17:15	
	悩み・心配ごと	和歌山いのちの電話	073-424-5000	毎日 10:00～22:00
医療機関	うつなどが疑われる場合は、早めに受診してください	○かかりつけ医師 ○心療内科、精神科、神経精神科	最寄りの保健所に相談してください	
仕事・職場	労働者の健康に関する相談	和歌山産業保健推進センター	073-421-8990	月～金 9:00～17:00
	労働に関する相談	和歌山県労働情報センター	073-436-0735	月・火・木・金 10:00～16:00
				水 16:00～20:00 土 10:00～14:00
	労働条件をめぐる労働者と使用者の間で生じた問題の相談及び労働関係法令に関する相談	和歌山労働局総合労働相談コーナー	073-488-1020	月～金 8:30～17:15
		和歌山労働基準監督署	073-488-1200	
		御坊労働基準監督署	0738-22-3571	
橋本労働基準監督署		0736-32-1190		
	田辺労働基準監督署	0739-22-4694		
	新宮労働基準監督署	0735-22-5295		

分野別	相談内容	相談窓口	電話番号	開設時間
経済問題	契約トラブルなど消費生活に関する相談	和歌山県消費生活センター	073-433-1551	月～金 9:00～17:00 日曜日(10:00～16:00)は消費生活センター本所のみ
		和歌山県消費生活センター紀南支所	0739-24-0999	
	悪質商法、ヤミ金融、ハイテク犯罪に関する相談	警察本部生活環境課	073-423-0110	月～金 9:00～17:45 夜間及び土、日、祝日は当直で対応
法律相談	法的トラブルに関する情報提供、経済的に困りの方への無料法律相談や裁判費用等の立替	法テラス和歌山 (日本司法支援センター)	050-3383-5457	月～金 9:00～17:00
子ども	子ども(18歳未満)についてあらゆる相談	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター	073-445-5312	月～金 9:00～17:45
		和歌山県紀南児童相談所	0739-22-1588	
		和歌山県紀南児童相談所新宮分室	0735-21-9634	
	子ども(18歳未満)についてのあらゆる相談(子どもと家庭のテレフォン110番)	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター (子どもと家庭のテレフォン110番)	073-447-1152	月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～16:30
	いじめ等少年の悩みに関する相談	ヤングテレホン・いじめ110番 (警察本部少年課)	073-425-7867	月～金 9:00～17:45 夜間及び土、日、祝日は当直で対応
	いじめ、不登校など教育に関する相談	和歌山県教育センター学びの丘教育相談室	073-422-7000	月～金 9:00～17:00
和歌山県教育センター学びの丘紀南相談課		0739-23-1988		
女性	女性のあらゆる相談	和歌山県男女共生社会推進センター (りいぶる)	073-435-5246	月～土 9:00～20:30
高齢者	高齢者のあらゆる相談	和歌山県高齢者総合相談センター (和歌山県シルバー110番)	073-435-5212	月～金 9:00～16:30
	高齢者総合相談	各市町村地域包括支援センター	各市町村地域包括支援センター	各市町村の介護保険担当課へ問い合わせてください
障害者	障害者の権利擁護に関する相談	各市町村福祉担当課	各市町村役場	各市町村の福祉課へ問い合わせてください
人権	人権全般に関する相談	(財)和歌山県人権啓発センター (人権ホットライン)	073-421-7830	月～金 9:00～16:00
	子どもの人権全般についての相談	子どもの人権110番	073-425-2704	月～金 8:30～17:15
地域のさまざまな問題	行政相談、日常生活に関わる様々な相談	和歌山県県民相談室	073-441-2356	月～金 9:00～17:00
	心配ごと相談	各市町村社会福祉協議会	各市町村社会福祉協議会	各市町村社会福祉協議会へ問い合わせてください
	犯罪被害、犯罪の未然防止、地域の安全と平穏に関する相談	和歌山県警察本部警察相談課	073-432-0110	月～金 9:00～17:45 夜間及び土、日、祝日は当直で対応

発行：平成21年3月31日 **和歌山県精神保健福祉センター**

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛2階 TEL：073-435-5194 FAX：073-435-5193

## 和歌山メンタルヘルスニュース

県内の精神保健福祉関連の最新情報と当センターの活動をお知らせします。

### ○ 社会復帰関連問題研修会

3月11日(水)、12日(木)に、ビッグ愛にて「平成20年度社会復帰関連問題研修」を開催しました。医療機関、旧精神障害者社会復帰施設、障害福祉サービス事業者等の職員24名が参加されました。岸本徹彦氏(神戸総合医療介護福祉専門学校 作業療法科 専任講師・SST普及協会認定講師)が『精神障害者の生きる力をつけるソーシャルスキルトレーニング(SST)』について講義を行い、その後、参加者がグループワークやSSTの演習を行いました。参加者からは「大変楽しく分かりやすい研修でした」「思ったより身近に実践の応用ができるなあと感じました」等の意見がありました。

### ○ 自死遺族のための講演会(第2回)

3月24日(火)に、自死遺族を対象にした講演会(第2回目)をビッグ愛にて開催しました。内容は、自死遺族サポートチームこころのカフェきょうと代表 石倉紘子氏による講演「自死遺族の立場から遺族支援を考える」で、14名の参加がありました。講演会終了後、参加希望者どうしの話しあいにより、分ちあいの会の日程が決定されました。

## 精神保健福祉センターの相談事業

### ○ 精神保健一般相談(要予約)

精神保健福祉士、保健師、臨床心理士が、こころの相談に応じます。  
平日9:00~17:45

### ○ こころの電話相談

精神疾患や依存症、職場や人間関係のストレス、不登校・ひきこもり等のこころの健康に関する電話相談をおこなっています。  
平日9:30~16:00(12:00~13:00を除く)  
電話番号 073-435-5192

### ○ 自死遺族相談(要予約)

自死(自殺)により大切な人を亡くされた方の死別による悲しみからの回復をお手伝いする相談をおこなっています。

対象: 自死(自殺)により大切な方を亡くされた方(家族・知人・友人)

日時: 毎月第4木曜日13:00~17:00

(都合により日程が変更される場合があります)。

\* 相談時間はお一人1時間程度です。

### ○ 思春期・青年期 特定窓口相談(要予約)

専門の医師が、思春期・青年期に特有の悩みや精神疾患、不登校・ひきこもりの相談等に応じます。

対象: 思春期・青年期の問題を抱える当事者やご家族

日時: 毎月第4金曜日9:30~11:30

(都合により日程が変更される場合があります)。

\* 相談時間はお一人30分程度です。

### ○ 青年のつどい・フリースペース

不登校やひきこもりの問題を持つ方を対象に、自由に過ごせる憩いの場をもうけています。

対象: 和歌山県在住の概ね16歳から40歳までの方

日時: 毎週火曜日 13:00~16:00

申し込み: まずは精神保健福祉センターにご連絡ください。

事前にスタッフが個別相談に応じます。

### ○ ひきこもり家族のつどい

ひきこもり者の家族同士がわちあいや情報交換の場を持ちながら問題の解決に向かう力を高めるために、家族どうしの集まりの会をもうけています。

対象: ひきこもりの問題を抱えた家族

日時: 毎月第3水曜日13:30~15:30

申し込み: 不要

精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナーです。  
今回は、紀南障害者地域生活支援センターの支援ワーカー、  
垣本 哲志さんです。



## はーとふるネットワーク



### 一 紀南障害者地域生活支援センターに勤務されて何年になりますか？

2年です。4月で3年目に入りました。

### 一 支援ワーカーになられたきっかけは？

高校の時にボランティアで作業所に行かせてもらい、卒業後は、他の仕事をしていたのですが、自分のしたい仕事が見つからず、やおきの職員さんに声をかけてもらい、新規採用の募集があると聞いたので、やってみようと思い面接を受けに行き採用されました。

### 一 この仕事をしていて良かったと思う時はどんな時ですか？

メンバー（利用者）と話や活動をする時は一緒に楽しみながら仕事が出来るところと、職員間でも仲が良く休みの日など趣味を共有できるところです。

### 一 仕事で苦勞する点はどのようなことですか？

今のところは苦勞することは時に見つからないです。

### 一 紀南障害者地域生活支援センターのPRを一言お願いします。

面白く、楽しい職員が5人います。平日の日中はデイサロンとして開放していて、金曜日にはレクリエーションもしているのでいつでも遊びに来て下さい。

### 一 休日はどのように過ごされていますか？

釣りに行く事です。夏には泳ぎに行きます。アウトドアな遊びが好きです。あとは、娘と遊ぶ事、家族サービスです。

### 一 今後の抱負を教えてください。

やおきの先輩職員のような支援員・相談員になれるように日々努力していきたいです。

### 一 垣本さんから、次の方のご紹介をお願いします。

やおき福祉会生活訓練施設 ゆうあいホームの廣島快侍さんです。



## 研修等のお知らせ

### 精神保健福祉関連新任者研修

日 時：6月10日（水） 9:50～15:00

11日（木） 10:00～15:00

場 所：和歌山ビッグ愛

対 象：精神保健福祉業務に従事して、概ね5年以内の担当者（医療機関関係者を含む）

内 容：「精神疾患と精神障害の理解」  
「精神障害者と人権」  
「相談の受け方の実際」  
「障害福祉サービスの提供について」

### こころのレスキュー隊基礎研修会

日 時：8月3日（月） 10:00～16:30

和歌山ビッグ愛

4日（火） 10:00～16:30

西牟婁振興局

対 象：精神保健福祉従事者・教職員等関係機関職員

内 容：「ストレス障害概論とこころの緊急支援」  
「二次受傷とストレスマネジメント」

### 和歌山県精神保健福祉協会総会及び講演会

日 時：7月13日（月）

場 所：和歌山ビッグ愛

内 容：映画「おくりびと」の誕生に深いつながりのある作家

青木 新門氏 による講演（予定）

### 精神保健福祉センター主催の研修

（予定）

- ・精神保健福祉関連新任者研修
- ・こころのレスキュー隊基礎研修
- ・こころのレスキュー隊実践研修
- ・思春期セミナー研修
- ・嗜癖関連問題研修
- ・自殺対策研修
- ・社会復帰関連問題研修
- ・精神保健福祉専門研修
- ・ひきこもり従事者研修
- ・災害時のこころのケア研修 ほか

（開催時期等については、追ってお知らせします）

## 編集後記

新緑が気持ちいい、さわやかな季節を通り過ぎ、蒸し暑さを感じはじめるようになりました。日焼け対策にと自転車通勤の途中マスクを着用していましたが、はからずも新型インフルエンザが流行り、自分以外にもマスク姿の人を見かけるようになりました。早く事態がおさまリ、マスクいらずの日々が戻ることを祈るばかりです。